

小川ゆうじの「しんぶん赤旗」読者だより

大阪府町議 小川雄司



田尻町支部党活動募金 1口200円のお願

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時〜正午
465-9939

1月の弁護士相談は
9日(金)
夕方6時〜8時
事前予約が必要です

(部内資料)

25日、泉佐野中央ポンプ場を視察 町議会災害対策特別委員会

台風19号による嘉祥寺地域の一家屋浸水の要因 中央ポンプ場計画能力55リを上回る降水量により、流入制限したため



合計6台のポンプがあり1分間に25プール約3杯分を空にする能力がある。



町議会災害対策特別委員会は(委員長 小川)25日に泉佐野中央ポンプ場を視察しました。参加議員は、小川・吉開・東・高木、大門、坂口の6名。10月13日台風19号がポンプ場排水計画能力を上回る豪雨をもたらした、嘉祥寺地域の雨水排水を委託している泉佐野中央ポンプ場がポンプ設備破損を免れるため、ポンプ場開設以来はじめて、流入制限をかけました。このため、泉佐野市内で多数、田尻町嘉祥寺地域で3軒の床上浸水、20軒の床下浸水をもたらししました。そのポンプ場の設備状況の視察を行いました。泉佐野市からは、下水道局長以下幹部職員らに対応いただき、実

際にポンプを稼働させるなど、克明にご説明いただきました。この視察では、豪雨時には瞬時に判断が求められ、ポンプ施設が破損すればとりかえしがつかないこと。河川や道路にゴミを捨てないこと。排水の邪魔になり処理能力に支障をきたすこと。国の最高基準55リに対応したポンプ場では対応できなくなっており、引き上げが求められること。気象予測の中は低いのが、豪雨災害を予測して逆算で対応することが大事な点などが、私たち田尻町議と泉佐野市の下水関係の幹部職員との質疑応答で語られ、委託する田尻町としては信頼を強める視察となりました。

今年1年間のご購読ありがとうございました。

しんぶん「赤旗」日曜版は、12月28日付と1月4日付は合併号です

次の配達は、1月11日付からになります。よろしくお願ひします。

2015年新春 日本共産党演説会のご案内

1月18日(日) 午後1時〜2時30分

嘉祥寺集会所

第1部 シャンソン 古家美保

第2部 弁士：党町会議員団 よしかい育子 小川ゆうじ 国会議員 その他



「だから、日本共産党で闘う」

週刊誌『アエラ』入党する若者たちを特集

週刊誌『アエラ』最新号(2014年12月29日、15年1月5日合併号)で「共産党もはや進むのは、この道しかない。そう思う若者たちが増えている」として日本共産党に入党する若者たちのひたむきな姿を報じました。「衆院選で野党が精彩を欠く中、唯一目だったのはあの政党の躍進だった」と日本共産党に注目しています。吉良よし子参院議員が「まっすぐな視線」を向け話を聞いた26歳営業職女性の入党体験から紹介しています。

過酷な労働環境を告白し、政治と生活のつながりが知りた」と入党したこの女性の声とともに同誌は「人々の頭上に今、幾重もの漠然とした不安が立ちこめている。そして、若者たちは共産党とともにその不安を押しつけようと活動している」と入党する若者たちを特徴づけています。さらに19歳男子学生、23歳女性看護師の入党後の活動から、安倍政権の強硬姿勢と対決する思いを伝え「だから共産党で闘う」と見出しをたてています。